

2022.

11/2〔水〕

15:20-17:00 (4限)

みなとみらいキャンパス4階
米田吉盛記念講堂



タイ バンコク～ワットアルンの夕景

タイ言語文化への誘い

ータイ語基礎、世界文学の一つとしての
現代タイ文学とその可能性

講演者：宇戸清治先生

(東京外国語大学名誉教授)

タイ語、タイ文学、タイ映画論を専門とする。

長年タイ語教育に携わり、現代タイ作家の作品を翻訳・紹介した先駆者でもある。

「タイ映画」に表象された大衆文化の変容やナショナリズムの研究も行ってきた。



参加方法

神奈川県関係者：直接会場にお越しください（事前連絡必要無し）。

神奈川県関係者以外の方：Zoomでのご参加となります。10月31日（月）までに左記QRコードよりお申込み下さい。後日、ID/PWをご連絡いたします。

連絡先：言語研究センター (gengo-meeting@kanagawa-u.ac.jp)

講演者紹介

(右から二人目が講演者。
右は作家のプラープダー。左は写真家テー。)



宇戸 清治(うど せいじ) 東京外国語大学名誉教授

タイ文学研究のかたわら、シーブーラパー、チャート・コープチッティ、カノックポン・ソムソンパン、ウィン・リョウワーリン、プラープダー・ユン、ウティット・ヘーマムーンなど東南アジア文学賞作家を中心とする現代タイ作家の作品を翻訳し単行本や文芸雑誌『新潮』『文藝』『早稲田文学』などで紹介している。東京外国語大学の「東南アジア文学会」の機関誌『東南アジア文学』(年2回、ISSN:1342-8357)の発行責任者でもある。ほかに「タイ映画」に表象された大衆文化の変容や、タイの映画作品に表れるナショナリズムの研究、タイ映画史研究を行う。

略歴

福岡県生まれ。1982年早稲田大学社会科学部卒業、ベルリン工科大学経営工学科中退、1985年東京外国語大学大学院外国語学研究科アジア第三言語専攻修士課程修了。東京外国語大学外国語学部助手、講師、助教授、教授を経て、現在名誉教授。

著書

- 『現代タイ語会話』大学書林 1989
- 『タイ語の日常会話』ナツメ社 1991
- 『やさしいタイ語 文字の読み書き』大学書林 1992
- 『暮らしと仕事に役立つタイ語の日常基本単語集』ナツメ社 1993
- 『やさしいタイ語 基本表現』大学書林 1995
- 『東南アジア文学への招待』(共編)段々社 2001
- 『たのしいタイ語 一冊で学ぶ会話、文法、文字』大学書林 2008
- 『一冊目のタイ語』東洋書店 2010
- 『そのまま使えるタイ語会話表現集』東洋書店 2011

翻訳

- 『インモラル・アンリアル』現代タイ文学ウィン・リョウワーリン短編集 サンマーク出版 2002
- 『罪との闘い』シーブーラパー 大同生命国際文化基金 2008
- 『二つの時計の謎』アジア本格リーグ2 チャッタワーラック著 講談社 2009
- 『パンダ』プラープダー・ユン 東京外国語大学出版会、2011
- 『現代タイのポストモダン短編集』大同生命国際文化基金 2012
- 『残り香を秘めた京都』ウティット・ヘーマムーン 京都市立芸術大学 2014